

# おき市議会だより

2015.11月号  
Ogi city



ふみすき  
踏鋤 (小城市蔵)

## ニュース／9月議会

表紙 はぶいせき ふみすき 土生遺跡と踏鋤

- 平成27年度補正予算・主な議案・人事・意見書 …… P 2
- 主な事業・会議結果 …… P 3～4
- 委員会報告 …… P 5
- 決算報告 …… P 6～7
- 一般質問 …… P 8～16
- 視察報告 …… P 16
- 議員活動あれこれ・お知らせ  
12月定例会(予定) …… P 17
- 地域の学び舎 …… P 18

## 平成27年度

## 一般会計・特別会計補正予算を承認

主な歳入として、地方交付税、寄附金、市債などが増加したが、その一方で、繰入金は減少している。主な歳出としては、ふるさと納税推進事業、下水道整備事業、桜岡小学校プール改築事業などである。

## 平成27年度 9月補正予算の状況

## 一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第2・3号）	205億2,046万円	2億5,642万円	207億7,688万円
簡易水道特別会計（第1号）	825万円	6万円	831万円
下水道特別会計（第2号）	28億3,353万円	1億937万円	29億4,290万円
国民健康保険特別会計（第2号）	64億363万円	▲57万円	64億305万円
後期高齢者医療特別会計（第1号）	4億8,680万円	723万円	4億9,403万円

※単位未満の額は切り捨てています。

## &lt; 補正予算の主なもの &gt;

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
ふるさと納税推進事業	1億7,989万円	ICTを活用した教育推進自治体応援事業	250万円
下水道整備事業（三日月、小城）	1億1,460万円	延長保育事業	247万円
桜岡小学校プール改築事業	9,493万円	農地及び農業用施設災害復旧事業	200万円
さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設等整備事業	662万円	自治公民館トイレ洋式化推進事業	80万円
マイナンバー制度創設関連事業	396万円	中国浙江省海塩県との交流事業	26万円

## 主な議案

（議案第58号）

小城市特定個人情報保護条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号（マイナンバー）の利用に関する法律が施行されるため、新たに条例を整備する。

従来 of 個人情報に比べ、より厳格な保護措置を講じている。

## 人権擁護委員の推薦

森永都和子氏が平成27年12月31日に任期満了となるため再度推薦することと同意。



森永都和子氏

## 意見書

（第3号）

安全保障関連法案の廃案を求める意見書（合決）

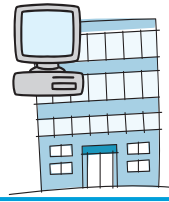
（第4号）

地方財政の充実・強化を求める意見書（可決）



# 主な事業

## 総務・市民



### 中国浙江省海塩県との交流事業

26万円

国際化時代・交流時代における人材育成と国際交流による地域活性化を図るために、職員を派遣し、今後の交流のあり方について、双方で具体的な取り組みについて協議する。

問 本年度の予算は26万円だが、平成30年度まで合計で780万円計画されているが、その内容は。  
答 本年度は職員を派遣し、28年度は行政間交流を深める。29年度は民間団体の交流の補助。30年度は子ども達の交流事業などを計画している。

### 地方創生チャレンジ交付金事業

1,032万円

県が、まち・ひと・しごと創生法、佐賀段階チャレンジ交付金要綱に基づき、地域の課題解決を指して市民団体が行う取り組みに対し支援する。

問 事業に対し、指導・助言、そして、事業効果の評価はどこでするのか。  
答 指導・助言等は当然市でも行っていくが、事業の評価については、県の事業であるので、県が行う。

### ふるさと納税推進事業

1億7,989万円

インターネットの広告を増やすことにより、27年度の寄附総額を10億円に上方修正したことによる経費の増。  
問 経費増の内訳は。  
答 お礼の品の増加やインターネットの広告料等である。

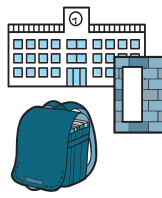
### マイナンバー制度に伴う環境整備及び通カード交付事業

396万円

マイナンバー制度導入に伴うネットワーク構築、カード郵送、臨時職員雇用などを行う。

問 個人番号カードを所有する市民のメリットは。  
答 身分証明書になることや、将来的に各種証明書をコンビニで発行できる可能性がある。

## 教育・文化・福祉



### ICTを活用した教育推進自治体応援事業

250万円

国のモデル事業。これまでに導入したICT機器等を最大限に活用するため、情報モラルを取り入れたモデルカリキュラムを作成する。  
問 目的と具体的な内容は。  
答 教師の指導力向上を

目指す。支援員を増強し有識者等の協力を得ながら小中学校の国語・社会・道徳の指導案を作成する。

### 桜岡小学校プール改築事業

9,493万円

老朽化した桜岡小プールを改築するための移設先の用地購入及び建物補償費。

問 移設先及びその面積は。  
答 桜岡小学校体育館東側。面積は約2,100㎡。  
身近なユニバーサルデザイン(トイレ洋式化)推進事業

800万円

自治公民館のトイレを誰もが利用しやすくする改修工事に対して、補助金を交付する。

問 補助の内容については。  
答 便器取替やブース改修、洋式便房増設に上限額を設定して補助を行っている。今回は、松本地区公民館に交付する。

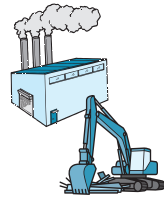
### 子どものための特別保育事業(延長保育事業)

247万円

子育てと仕事の両立を支援し、子育てしやすい環境作りを図る目的で、通常の保育時間を延長して保育を実施している私立保育所と私立認定こども園に補助金を交付する。

問 財源や内容について。  
答 財源は、国と県及び市が1/3ずつ負担し、保育所4園と認定こども園3園に補助金を交付する。

## 産業・建設



### 公共下水道事業

1億1,460万円

三日月処理区 (4,850万円)  
小城処理区 (6,610万円)  
三日月処理区は戊地内の300mの管路整備を、

小城処理区は甘木・朝日町・大手町地区及び北小路・小城本町地区約26haの詳細設計を行う。また幹線管渠を110m施工する。

問 小城駅周辺の工事着工の時期は。  
答 平成29年度に幹線管渠布設工事を予定している。

### ふるさと木材利用拡大推進事業

140万円

佐賀県産木材の利用拡大を図るため、県産木材を使用する牛津町勝地区の公民館建設事業に対し、補助金を交付する。



# 会 議 結 果

## 平成27年 第3回 小城市議会定例会議決結果 (9月1日~10月9日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果
議案第58号	小城市特定個人情報保護条例	総	可決 (賛成20 : 反対1)
議案第59号	小城市税条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第60号	小城市廃棄物の減量推進、適正処理等に関する条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第61号	小城市道路線の認定について	産	可決 (全員賛成)
議案第62号	字の区域の変更について	総	可決 (全員賛成)
議案第63号	財産の取得について	産	可決 (全員賛成)
議案第64号	平成26年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	決	認定 (賛成20 : 反対1)
議案第65号	平成26年度小城市授産場特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第66号	平成26年度小城市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第67号	平成26年度小城市下水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第68号	平成26年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (賛成20 : 反対1)
議案第69号	平成26年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (賛成20 : 反対1)
議案第70号	平成26年度小城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		認定 (全員賛成)
議案第71号	平成26年度小城市病院事業会計決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第72号	平成27年度小城市一般会計補正予算 (第2号)	総・文・産	可決 (賛成20 : 反対1)
議案第73号	平成27年度小城市授産場特別会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
議案第74号	平成27年度小城市簡易水道特別会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第75号	平成27年度小城市下水道特別会計補正予算 (第2号)		可決 (全員賛成)
議案第76号	平成27年度小城市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	総	可決 (全員賛成)
議案第77号	平成27年度小城市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)		可決 (全員賛成)
議案第78号	平成27年度小城市水道事業会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第79号	平成27年度小城市病院事業会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
議案第80号	平成27年度小城市一般会計補正予算 (第3号)	産	可決 (全員賛成)
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	一	適任 (全員賛成)
報告第6号	平成26年度小城市一般会計継続費精算報告書	文	了承
報告第7号	平成26年度小城市下水道特別会計継続費精算報告書	産	了承
意見書第3号	安全保障関連法案の廃案を求める意見書	一	否決 (賛成4 : 反対17)
意見書第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	一	可決 (賛成16 : 反対5)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 決…決算審査特別委員会 一…委員会付託なし

### 議案等の賛否一覧 (全会一致以外のみ掲載)

中島正之議長は採決には加わりません

議案番号	議 員 名	松	永	西	光	富	諸	樋	中	江	深	市	岸	上	香	合	松	堤	平	下	北	大
		並	洲	正	岡	永	泉	渡	島	島	川	丸	川	籠	月	瀬	尾	野	村	島	坪	
議案第58号	小城市特定個人情報保護条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第64号	平成26年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	平成26年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	平成26年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	平成27年度小城市一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号	安全保障関連法案の廃案を求める意見書	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●
意見書第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 賛成 ● : 反対



# 委員会報告

9月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

## 総務常任委員会（9月11日）

**質問** 小城市特定個人情報保護条例は、従来の個人情報保護条例に新たに規定すべきことを加えただけでよかったですか。

**答弁** 個人情報保護条例と分けた方が理解しやすいという専門家の助言があった。

**質問** 地方創生チャレンジ交付金事業は本年度のみとなっているが、採択された事業の継続性はあ

**答弁** 採択の条件は事業の新規性と継続性である。  
**質問** ふるさと納税推進事業は順調に推移しているか。

**答弁** 順調に推移しているが、新たに広告をして事業の推進を図りたい。

## いよいよ始まる！ マイナンバー制度

平成27年10月から、住民の方一人一人に「マイナンバー」（12桁の個人番号）が通知されます。世帯ごとに簡易書留で配送されます。生涯にわたって利用する番号ですので、紛失しないように大切に保管してください。

### スケジュール

10月～11月

マイナンバーを順次通知します。

平成28年1月

社会保障、税、災害対策の行政手続きでマイナンバーが必要になります。希望者には、個人番号カードを交付します。

### 届いたら確認！

3つの書類は入っていますか？

- マイナンバーの「通知カード」
- 「個人番号カード」の申請書と返信用封筒
- マイナンバーについての説明資料

大切に保管してください。



## 文教厚生常任委員会（9月15日）

**質問** ICTを活用した教育推進自治体応援事業で、支援員を増員するのか。

**答弁** 現在の3名にプラスすることを考えている。それが不可能な場合には現在の支援員の雇用日数拡大を考えている。

**質問** 桜岡小学校プール改築事業で買収する土地の価格の基準と、補償・補填の内容は。

**答弁** 地価公示価格、民間の価格や不動産鑑定などを総合的に判断して交渉したい。家屋が約百坪あり、県が県道沿いの家屋補償を行った例を参考に概算で家屋補償の額を計上している。また、建物以外の物件は立木や石・灯籠が多数あるので引越し費用も含めたところで予算計上を行っている。

**質問** 私立の延長保育促進事業における延長時間とその園数はどうなっているのか。

**答弁** 1時間延長が6園、30分延長が1園。



▲改築が待たれる現桜岡小プール

## 産業建設常任委員会（9月14日）

**質問** 旧西部広域農道の県道昇格と、県道を市道へ認定することとなった経過は。

**答弁** 県道再編に併せて協議した。交換に当たっては旧西部広域農道についてはかなり傷んでおり、また、JR唐津線をまたぐ跨線橋は今後耐震補強等のでかなりの経費を要するが、現況のままで県に移管。

市道認定する県道については、多久牛津線は管理上路肩部分の張りコンクリートと舗装の補修をする。川上牛津線は改良工事も終わり、一部白線が消えかかっているとところなどの補修をして引き渡すことで合意している。

**質問** 建設中のまちなか市民交流プラザで使用する備品は、すべて新品を揃えるのか。

**答弁** 関係課で備品協議を行って、使える備品は使う。それ以外は、交流プラザの建物の仕様に合わせて新しく購入する。



▲市道認定される多久牛津線

# 平成 26 年度 一般会計・特別会計・企業会計 決算を認定

平成27年第3回定例会において、決算審査特別委員会に付託された、「議案第64号 平成26年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について」から「議案第71号 平成26年度小城市病院事業会計決算認定について」までの8件の議案について、9月24日から10月6日までの13日間にわたり委員会を開催し、毎日に日程を定め、慎重に審議を行い、いずれも、これを「認定すべきもの」と決定した。特別委員会として、各会計の審査において、適正な予算執行、財源の確保、効率的な行政執行等の観点から、各委員から種々の指摘、要望、意見、提言等があり、今後の本年度予算執行及び来年度の予算編成に十分に反映させ、市民の声が行政運営に生かされるよう、市長および市執行部への強い要請があった。質疑は次のとおり。

## 自主財源の増と財政シミュレーションの考えは

**問** ふるさと納税は、今後、他自治体のPR等の新規参入により競争が激化することが想定される。昨年度ほどの収入が見込めるのか疑問であり、自主財源も乏しい中で、今後、西九州大学地域看護学部誘致事業、広域クリーンセンター建設や学校の改修事業等の大型事業が続くことが予定されており、小城市として財政シミュレーションを示して、歳出を抑える努力をしていく必要がある。また、いかにして自主財源を増やすか方策を考へること。

**答** 自主財源については厳しい状況にあり、依存財源に頼っているのが現状である。普通交付税も今年度から5ヶ年をかけて段階的に削減される。歳出では、大型事業も計画されているほかにも扶助費、公債費等が伸び

ることも危惧される。このような中、適正な財政運営を行っていくには、

毎年の財政計画の見直しを行いながら翌年度以降の予算編成をしていく必要がある。財政シミュレーションについては、今年2月に財政計画を示しているが、毎年議会にも示していく。当面は基金の取り崩しを図りながら激変緩和を行っていく。自主財源の確保については、庁内でも協議を重ねているが、これといった方策はまだ出てこない。ふるさと納税に期待しながら今後も自主財源の確保に努力する。

**問** 標準財政規模で判断すると小城市の予算規模が身の丈にあっていない。

**答** 財政シミュレーションを行いながら財政運営を行っているが、歳出をいかに抑えて、自主財源をいかにして増やすかも大事。指摘を十分踏まえて行政運営をやっ

いきたい。

## 滞納・未収金対策は

**問** 市税に対する滞納に徴収率もアップしているが、保育料、市民病院医療費、生活保護費の返還金や徴収金、育英資金、市営住宅使用料等の滞納、未収金についての対策が不十分である。庁内で横断的かつ組織的に未収金等対策に取り組み、滞納額が増大する前に早めに着手して、市民間に不公平感が広まらないように努めること。

**答** 自主財源に直接関係することから滞納・未収金対策は重要な課題である。現状を解決していくには、正しい手順で未収金対策に取り組んでいく必要がある。支払い能力があるにもかかわらず税や使用料を滞納している方もいるので、法的な手続きを講じながら最も有効な方法でやっ

ノウハウやスキルが大事なものと思っている。庁内で組織を組み、自主財源の確保を含めて債権の回収を担当する部局が集まり、連絡会議を行って未収金の解消に向けた取り組みを行っている。

## ふるさと納税の有効活用を

**問** 収入を安直に既存の事業に財源充当をせず、寄付者の意思を汲むような事業等に特化して有効活用をすべきでは。

**答** 25年度は少なかったふるさと納税は26年度一気に増え、使い道は5つのメニューに振り分け、ふるさと納税の活用を図った。議会でも特化した何かをやるべきじゃないかとの意見があり、他の先進事例も参考に小城市として特化できるような事業があれば28年度ふるさと納税のひとつの使い道として考えていきたい。

## 積極的な定住促進を

**問** 定住促進事業は地方創生の大きな柱になることから、県内でも中央部に位置している地の利を生かして、積極的に施策を考え、早急に事業を行う必要があるのでは。

**答** 新しい人の流れを作るため人を呼ぶ小城市づくりということで地域ブランド化した住みよい小城市を実感し、共感してもらい、子育て世代に選ばれたる街づくりを推進したいとの考え方を持っている。移住希望者に対して相談窓口の強化、子育て世代の定住促進、空家等の既存住宅の活用、通勤通学者の定住促進というところで事業展開を図っていききたいと考えている。3年間の事業をやってきて一定の効果はあったが、地域的には差がある。28年度は新たな政策を打ち出していき



**電気自動車充電インフラ  
整備活用事業について**

**問** 電気自動車用の高速充電器の設置について、事業費が不足したため牛津総合公園に設置したということだったが、利用者の利便性を考えるなら、予算は補正してでも当初予定のとおりアイルに設置すべきではなかったのか。

**答** 高速充電器の設置は当初アイルに予定していた。9月に申請をした段階で新たに電柱の設置が必要ということがわかり、工事費が200万円程度不足するというところで12月議会で補正をしても、1月から工事着手するとすると補助事業の期限に間に合わないということになり、現在の総合公園内の駐車場に設置している。牛津総合公園の場所が奥まって分かりにくいいため看板等の設置などでより分かりやすくなるように検討していく。

**市と観光協会との関係性と  
補助金の支給について**

**問** 小城公園の花見とホテル観賞時の警備員賃金などの経費については、市から支出されている。ホテルの清掃協力金や駐車場協力金は観光協会の収入になっている。支出方法が誤っていないか。

**答** 小城公園の花見時期の協力金については観光協会自主財源の確保の面から、小城市は承認をしている。ホテル観賞時の協力金についても、観光協会が徴収している。

**問** ふるさと納税の手数料による収益により、これだけの余剰金があるなら、観光協会に対する補助金支給も考え直すべきではないか。

**答** 観光協会は公共的団体であり公益事業、収益事業及び事務局費がある。小城市からの補助金については公共性が高い物については継続して

補助金の交付ということをお願いをしたい。

ふるさと納税の手数料でこれだけの利益を上げた中で、実際、補助金が必要なのか、観光協会として公益的な事業に対して、市として要請するのか、それとも観光協会独自で行うこととするのか、補助金のあり方を含めて再度協議をさせていただきます。

**市授産場移譲の早急な実現を**

**問** 先の本会議の市長答弁で、授産場については譲渡を考えている旨の発言があり、譲渡先に内定していた事業所との話が頓挫した状態にある。譲渡先事業所の範囲を市外に広げてでも、早急に相手方を募って実現化するよう望む。

**答** 授産場の移譲については、昨年末から今年2月にかけて市内の福祉事業所に移譲の意向を聞いて、一つの事業所か

ら移譲を受けたい意向があったので条件等の協議を重ねてきた。しかしながら、今年9月初めにその事業所から内部事情により辞退する旨の申し出があった。今後の対応としては、対象をどこまで広げるか、もう少し整理をして実現するように今年度中に進めていく。

**人間ドックへの助成事業について**

**問** 国民健康保険事業で行っている人間ドックの助成については、市民の関心が極めて高く、毎年予算の範囲内で受診者を締め切っているが、その後にキャンセルが発生し、不用額が計上されている。申し込みを断られた方に再度受診の有無の呼びかけを行うなどの市民に対してのサービスはできなかったのか。

**答** 国民健康保険事業の人間ドックで、受診希望者の中から過去3年間で助成を受けた回数

少ない方から優先的に選定をして、受診者を決定した。最終的に30余名が未受診であったため、不用額が発生した。今後、受診勧奨の時期を早めに行い、未受診者の把握をして、早い時点で待機者に対して案内ができるように対応していく。



▲委員会のようす

平成27年度

決算審査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 西 正博  |
| 副委員長 | 諸泉 定次 |
| 委員   | 松並 陽一 |
|      | 永渕 和正 |
|      | 岸川 英樹 |
|      | 上瀧 政登 |
|      | 香月チエミ |
|      | 下村 仁司 |
|      | 大坪 徳廣 |



光岡 実

市道※ストック総点検の調査結果は

市長 14路線について早急に補修が必要

**光岡** 平成26年度に全市道において道路ストック総点検が行われたと思うが、その調査結果は。

**建設部長** 平成25年度調査分は、26年度に5路線完了。今年度に1路線、28年度に2路線を予定している。

**市長** 平成25年度に調査した8路線と26年度に調査した703路線のうち14路線について、早急に補修が必要な路線という結果がでたので、随時補修をしていきたい。

平成26年度に調査した14路線についても、優先順位等を検討し、平成28

年度に国に計画を提出して、順次補修の予算要求を行っていく。

国民健康保険事業の県への移管について

**光岡** 現在の状況は。

**市民部長** 法の改正により、市町村国保は平成30年度より、都道府県と共同運営となり、今年度から具体的に県と市による役割分担の検証、内容検討等が行われていく。

国も平成30年度から3,400億円の財政支援を行う予定。

※ストック総点検：路面性状調査



▲路面性状調査のための測定車（車内）



合瀬 健一

マイナンバー制度を問う

市長 社会保障、税、災害対策に利用する

**合瀬** マイナンバー制度の正式名称は社会保障・税番号制度と聞いているがその内容は。

国民にとって公平公正な社会を実現するための社会基盤となるものである。具体的には10月以降、住民票を持つ市民に12桁の個人番号が付された通知カードが郵送され、来年1月以降に申請をすれば個人番号カードが受け取れる。

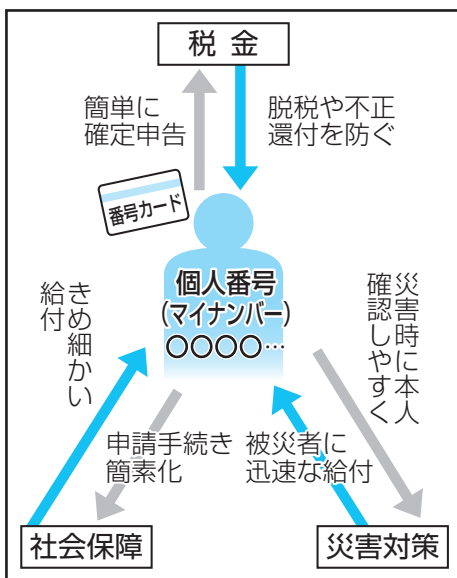
**市長** 複数の機関に存在する個人の情報を同一の人物であるということの認識を行うための基盤であり、社会保障や税制度の効率性・透明性を高める。

住民に対しての周知は。

**合瀬** 住民に対する周知は。

地方創生チャレンジ交付金事業について

**合瀬** 10事業取り上げられているが、事業効果の検証は。



▲マイナンバー制度の活用イメージ

**企画政策課長** 成果指標としては、他の地域のモデルケースになるのか、地域課題の解決に向かうのか、そういう指標を立てている。話をそのつど聞き取りをして、成果が出るよう期待している。





富永 正樹

## 市民の声や力を活かす 観光行政を

市長

市民と行政との協働事業という形でやりたい

**富永** ①「小城蜚の郷ファクトリーパーク」の残地の今後の活用は。  
②巨費を投じて建設中のまちなか市民交流プラザの中に太陽から採火した

「平和の火」、「思いやり」の火・「怒の火」を未来永劫灯し、光のページェント（ロウソクの火、花火などを用いた光の集合を大規模に提示する様）に繋いで。

③商工観光課のこれからの考え方、方向性は。

④平成24年9月に「小城郷土史研究会」の会長より出された祥光山星巖寺周辺や開山堂の整備保存は。

⑤JR牛津駅にある小城市産業展示館の今後の活用は。

**商工観光課長**

④

社の現地視察を受け好感触を感じてい

る。また、民地の空き地があれば、企業の問い合わせがあった時には引き合わせもやっていきたい。

**平野** ①圃場整備後40年ぐらい経過し、今までも整備されていない一級河川堤防沿いの水路が多くなる。この水路の責任の所在は。

**平野** 牛津川右岸、左岸の整備の状況が大きく違う。同じ一級河川の堤脚水路である。市長は現場を確認し判断を。

**市長** 右岸、左岸の整備の差が大きいことは、今までの経緯経過を踏まえて現場を確認した上で対応を考えたい。

**市長** ②現在考えていない。

**市長** ①河川管理者である国交省所管の水路と、国県から法定外水路として市に移管されている区域もある。責任の所在は両方にある。

**市長** ②国、県の水路も、市に移管されている水路も繋がっている。河川管理者と連携協議をしていく。

**産業部長** 水路と田面の高さが2mの要件に満たぬ小規模水路は、多面的機能支払交付金事業や小城市農業用施設機能管理事業で対応したい。小規模水路整備事業の創設を県へ要望していく。

⑤地元の方々に有効に使っていただくために、現在牛津芦刈商工会へ利活用についての協議をお願いしている。



▲国の一級河川堤防沿いの整備されていない堤脚水路

**平野** クリーク防犯事業で整備されない水路については。



岸川 英樹

### 区長連絡簿等の要望に解決は

市長

緊急性、必要性を考慮優先順位をつけ解決を

**岸川** 要望、陳情等の件数、予算金額はどうか。

**市長** 過去5年間で1,038件の提出件数で、解決が1,007件、未解決が31件で、予算は集計できていない。

**岸川** 解決できていない31件は次年度に回すのか、これは解決できないのか。

**市長** 各区長に説明了解をお願いしているが、少しでも早く地区の課題として、解決を図ってきたい。

**岸川** 緊急車両が進んでこない永田・弁財線の拡張工事で要望が出されて、7年を経過し解決していないが無理か。

**市長** まず効果的に隅切りという形で拡幅できないか、集落内を拡幅する用地の提供など、そういう形で協力してもらえば事業はできると感じる。その協議をまた今後続けていきたい。

### その他の質問

○小城市防災対策

①地震被害予測に対する対応策について

②津波浸水想定に対する対応について



▲アイル津の里温泉 (牛津町)

**中島** 平成25年6月定例会で表明されたアイル資源磨き構想の現在までの経過、状況、今後の考えと、行政的課題は。

**市長** 構想の中で、アイル津の里温泉とその周辺の資源を磨いて、スポーツ、医療、温泉と連携した特色あるまちづくりを目指し多岐にわたる調査を実施し具現化するために必要な考え方や目標、また、目標を達成する手段等について職員を対象とした様々なワークショップを実施し、その後、外部との意見交換などを行っている。また、今

後には人口減少社会に歯止めをかけ、地方創生の展開を目指し、市総合戦略の重要な柱に位置付けて進めていく。

**企画政策課長** 行政的な課題として財政的な財源の問題、アイル周辺の自然立地環境、現在までに投資を行っている農業振興地に対する開発、水路、クリーク整備などをどう整理して行うのが課題としてある。

**中島** 財政的な課題についての具体的な検討は、**企画政策課長** 現時点では具体的な検討は行っていない。



中島 正樹

### アイル資源磨きの行政的課題

市長

行政的課題は財源の問題

ル津の里温泉とその周辺の資源を磨いて、スポーツ、医療、温泉と連携した特色あるまちづくりを目指し多岐にわたる調査を実施し具現化するために必要な考え方や目標、また、目標を達成する手段等について職員を対象とした様々なワークショップを実施し、その後、外部との意見交換などを行っている。また、今

後には人口減少社会に歯止めをかけ、地方創生の展開を目指し、市総合戦略の重要な柱に位置付けて進めていく。

**企画政策課長** 行政的な課題として財政的な財源の問題、アイル周辺の自然立地環境、現在までに投資を行っている農業振興地に対する開発、水路、クリーク整備などをどう整理して行うのが課題としてある。

**中島** 財政的な課題についての具体的な検討は、

**企画政策課長** 現時点では具体的な検討は行っていない。

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。





下村 仁司

## 小城市の大雨台風時の 水路管理は

市長

今年は3回対応で大きな災害もなく安心している

**下村** 7月1日市役所に電話した2件についてどう対応されたか。

**建設課長** 排水ポンプ場に稼働要請をした。排水樋管から逆流している現地向いた。

**下村** 8月12日3回電話したがその内容の把握と対応は。

**建設課長** 砥川保育園の裏が浸水している羽佐間の水の対応ということ、多久市にポンプ稼働を依頼した。

### 地方創生によるまちづくりについて

**下村** 国策の地方創生に沿った小城市のまちづくりの考え方は。

**市長** 若い世代の就労・結婚・子育てが希望どおり実現するように小城市の総合戦略を策定して取り組む。



樋渡 邦美

## 中国海塩県との交流事業 の状況は

市長

互いに交流を深めていければと思う

**樋渡** 交流事業について3月議会で予算計上されたが説明不足で予算の減額、今回再度予算計上されたが全体像が全く見えない。そこでこれまでの経過と今後の取り組みについて具体的明確な説明を。

職員を派遣し、その結果を議会に報告する。これがこれらに沿った施策が必要となる。

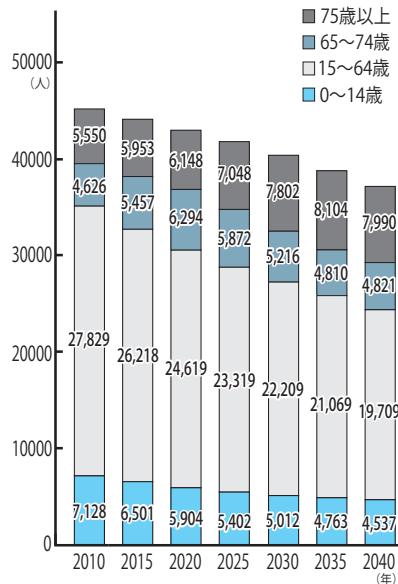
### 人口減少対策は

**樋渡** 小城市の将来における人口減少対策は。

**樋渡** 県の試算によると市は10年後は約4万1千人、20年後は3万8千人の予測がなされている。そのためには企業誘致による雇用の促進、市の基幹産業である農林水産業の後継者対策、また定住促進の強化等に尽力を望む。

**総務部長** 総合戦略の中で基本目標として「雇用の創出」「人の流れ」「若い世代の結婚・出産・子育て」。

佐賀県による小城市の人口推移予測





江島佐知子

### わかりやすい道路標示で安全確保を

市長

交通安全が確保されるよう公安委員会に要望

**江島** ①横断歩道など道路標示が消えかかってわ

かりづらく危険な箇所が多いが、対応は。

②小学校区ごとに開かれているセーフティネット会議での意見はどう活かされているか。

③小城駅北交差点は整備されたが、危険な状態のままである。信号設置は。



▲横断歩道が消えかかって危険な交差点

**市長** ①道路交通法の規制による標示は県公安委員

会が管理している。標示がわかりづらいという

市民の情報や道路パトロールで発見した箇所は早急に補修してもらうよう要望していく。

**教育長** ②会議で出た危険箇所は小城市通学路安全推進会議に報告

し、関係機関が連携して安全点検を実施している。学校でも子どもたちへ指導している。

**建設部長** ③まちづくり推進課で以前から警察と協議している。前向きな検

討を今後も要請していく。

### ドクターヘリの運用

**江島** ドクターヘリの活用については年々増加し

ている。学校施設が緊急ヘリポートに指定されているが、学校教育に支障のないよう緊急ヘリポートの指定を見直すべき。

**総務部長** ほかに代わる場所がないか、佐賀大学附属病院、小城消防署と協議している。

### その他の質問

○マイナンバー制度について



永瀧 和正

### 10,556人の心をまちづくりにどう生かすか

市長

28年度から牛津の中心市街地を計画的に取り組む

**永瀧** ①「語ろう牛津を、起こそう牛津の風、舞い

上がれ牛津の空に」を標榜したまちづくりシンポジウム in 牛津の開催な

ど、牛津まちづくり協議会の活動をどう思うか。

②牛津駅周辺整備と駅南口の開設、快速電車停車についての10,556人の署名の重みにどう答えるか。

③牛津駅には高架の跨線橋があるが、階段の乗降が困難な人が多い。人に優しいまちづくりを進めるため、バリアフリー化した自由通路（高架）の設置は。

**市長** ①住民自ら地域の課題に目を向けて取り組

むことは市民協働の観点から大変意義深い。市民力があることを評価する。

②関心の高さを改めて認識した。

28年度から行政と関係機関、地元を含めたまちづくり協議会等を立ち上げて、駅舎を含めた牛津の中心市街地のまちづくりを計画的に取り組む。

③駅では跨線橋のバリアフリー化が最優先。高架のあり方、自由通路としての高架のかけ方等検討していく。

### その他の質問

○小城市総合教育会議と教育大綱について



▲駅南口の開設と人に優しい跨線橋が必要な牛津駅

りた方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。会議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。





上瀧 政登

## フリーゲージトレインは 大丈夫か

市長 試験走行の再開のメドは  
立っていない

**上瀧** フリーゲージトレインの走行試験が中断している。再会は可能か。また佐賀県・長崎県の振興に本当に役に立つのか。

**市長** 性能確認試験を行っていたが、台車の欠損や摩耗痕が発生し、昨年11月より中断している。詳細調査に1カ月程要する見込みと発表されたが、再開のメドは立っていない。

フリーゲージトレインの開発費に450億円以上の研究費を使ってその開発は進められてい



▲開発中のフリーゲージトレイン

る。フリーゲージトレインは鳥栖・武雄間を在来線で、武雄・長崎間をフル規格で走るもので、新幹線の開発についての事業費は縮減されるもののトータルで考えればそのメリットは見い出せないと思う。フル規格で整備

するとすれば、佐賀県の財源の問題もあるし、時間的にも長くなる。課題はあるが、せっかくお金をかけて整備するのであれば、将来のことを考えるとフル規格が望ましい。

### ケータイ等の使用制限運動を展開しては

**上瀧** 青少年が夜遅くまで使用し悪影響がある。制限運動を展開しては。

**教育長** 大事なことです。

### その他の質問

○長崎本線踏切りの安全性について



松尾 義幸

## 統計調査による空き家は いくらあるのか

建設部長 賃貸や売却を除き  
970戸の空き家がある

**松尾** 12月議会に空き家等条例を提案することが進められているが、

- ①検討されている空き家条例のポイント。
- ②特定空き家(放置空き家) 認定の統一基準策定を県へ提案された内容は。

- ③平成25年度消防局調査の480件の空き家が特定できているか。
- ④放置空き家の解体と財政支出、跡地利用について。

**市長** ①倒壊のおそれがある空き家について、緊急時に建物への防護ネット設置やロープによる補強など。

②県の知見を活用しながら県下統一的な特定空き家の認定基準作成を要望。

**建設部長** ③ゼンリン地図に空き家の位置を表示する形で整理している。④国の財政上、税制上の措置の動向を踏まえながら支援策に取り組む。

**松尾** 5年毎に行われている平成25年住宅・土地統計調査で、小城市に空き家はいくらあるのか。

**建設部長** サンプルング調査をもとに空き家を推計すると1,610戸ある。空き家率9.9%。そのうち賃貸、売却用住宅が640戸。それを除く、その他の住宅は970戸。



▲道路沿いの空き家



諸泉 定次

### 住民サービスへ 非常勤の待遇改善

市長

非常勤の通勤費支給を  
検討していきたい

**諸泉** 住民サービスの充実を図るため、専門性の高い職種の時・嘱託の雇用期間の見直しや臨時の通勤費に見合った額の支給、長期間派遣できる職員体制が求められる。市長の見解は。

### 自衛官募集への市の 対応

**諸泉** 来年春高校卒業予定の子どもの名簿を本人、保護者の了解なしに自衛隊法で提出を求め

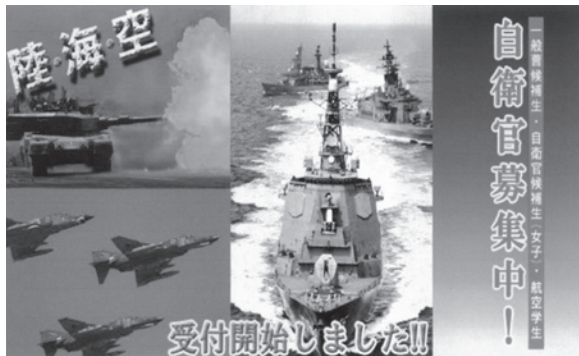
られ、紙で提出した。紙で渡せば紛失の恐れがあり、情報流出の可能性が高いという理由で、県内20市町で11市町が閲覧にとどめている。小城市個人情報保護条例と相矛盾しない対応が必要だ。

**市民部長** 自衛隊

佐賀地方協力本部長名で依頼された。総務課と協議して今年から紙の提出をした。

### その他の質問

○教職員の多忙化  
解消・土曜授業  
等について



※陸・海・空自衛隊ホームページより引用

▲自衛官募集のポスター



香月チエミ

### 避難対策の充実は 欠かせない

市長

防災訓練等を通して細部をつめ  
県と連携していく

**香月** 原発災害時の受け入れ予定人数及び避難場所となっている小城市公民館へは、どこの地区から何人か。収容可能面積の算出は妥当か。

らの情報共有は。

大事。

**市長** 具体的に想定していない。現時点では一時的な避難の場所ということ。年1回の県の原子力

**香月** 避難経路とスクリーニングの場所は。

**市長** 玄海町から約6,000人、唐津市の一部から約18,000人。小城市公民館へは、外津地区と普恩寺地区から1,000人。廊下、トイレ、階段などを除き収容可能が1,068人。一人当たり2㎡で算出。

は小城市にまず避難する訓練をするという段階。今後、県などとの連携が

**市長** 国道203号線を基幹道路とする。県内7か所のうち小城市役所でも県がスクリーニングの予定。

**香月** 市民への周知は。

**市長** 県が「原子力防災のてびき」を2回配布した。原子力防災訓練や玄海町などからの避難があることについて、広報等で知らせたい。



▲玄海町からの避難訓練

**香月** 避難期間の想定は。受入元自治体との平常時か

(注)スクリーニング：放射能の汚染検査と除去





西 正博

## 更なる子ども医療費支援への考えは

**市長** 助成の拡大については担当課と協議している

**西** 子どもの医療費助成について現在、未就学児は一部保護者負担を除き全額実施して頂いている。小中学生の児童生徒については、入院費と調剤費で助成して頂いている。大変有難く思っている。しかし、県内20市町のうち、17の市町で内容は異なるが通院医療費の助成を行っている。過去の議会答弁でも内容の拡大を図りたいとも発言されている。財源として「ふるさと応援基金」の充当も市民の方の理解は得られるのではと思うが、市長の見解を尋ねたい。

と小城市を除く7市で実施されている。小中学生までの助成を行えば5、200万円を必要とし、18歳まで拡大した場合はさらに4,200万円の財源を要すると試算している。財源の問題もあるが義務教育の子どもたちへの医療費助成の拡大について担当課と協議している状況。

### その他の質問

○生活困窮者自立支援制度の現状と今後について

○道路交通法改正に伴う自転車マナーの向上は

○災害時の危機管理について

**市長** 小学生の通院の助成は、佐賀市・伊万里市



▲期待される子どもへの更なる医療費の助成



深川 高志

## 市民交流プラザの完成予定は

**市長** 建物の完成が大変遅れている現状である

**深川** 中心市街地活性化事業の核となり、交流人口の増加、にぎわいの創出など大きな期待がされている交流プラザの建設工事が遅れていると聞いているが、どのような状況か。

建設需要が急増し、そのため人手不足、鉄骨等の資材の調達の遅れ、更に天候不良により建物の完成が大変遅れている現状である。現在確認できているのは、建物の完成が検査手続等を含めて11月末を予定している。外構の完成が12月上旬までの延長見込みとなっている。

建物の完成した後に、商工会議所がプラザへ移転し、勤労者福祉会館の解体に着手して、その後、に側溝、フェンスの設置、舗装、駐車区画のライン設置などを実施していく計画である。



▲完成が遅れ、まだ足場が残る交流プラザ（9月現在）

**市長** 交流プラザは、本年の9月30日完成を目指して工事を進めてきた。しかし、全国的な建設業の労働者が減少するなか、国内の



松並 陽一

## 国道207号線の3交差点の改良は

市長 前満江、江津交差点は順次改良される予定



▲県内でも交通事故が多い前満江交差点

**松並** 前満江、江津、本町の3交差点は、国・県によりどのように改良されるのか。

**市長** 前満江交差点は34号線に対して207号線

を垂直に結ぶ計画で、28年度以降の着工予定である。江津交差点は4方向全ての歩道、右折レーンを整備する計画で、用地買収の進捗次第では28年度からの着工予定である。

本町交差点は、5差路を変えることは難しく、南側の老朽化した道路の改良と、歩道の確保を今後要望していく。

## 西九州大学地域看護学部誘致

**松並** 26年度だけで18も

の大学が看護学科を設置し、国内全758校の大学のうち、228校が看護学科を有する。看護師の需要が高まることと同時に、看護学科の設置も増えていることも踏まえて、誘致を計画すべきではないか。

**市長** 全体では看護学科は増えているが、佐賀県などの地方には少なく、需要はあると考えている。

**松並** 大学周辺環境整備に必要な経費は。

**まちづくり推進課長** 桜岡小プール移転の用地補償・工事費別で約1・7億円。

億円。

## 天山区共同環境組合 長与町・時津町へ視察

(期日) 7月23日(木)  
(目的及び視察地)

●焼却処理施設建設の規模等の研修の  
ため

(長崎県長与町・時津町)

小城市では現在、

可燃ごみの処理は唐津市にあるクリーンパークさがへ委託して焼却処理を行っている。昨年10月に小城市と多久市が共同で可燃ごみを焼却処理する施設建設のため、天山区共同環境組合が設立された。

平成27年度の環境組合の事業は、焼却処理施設を建設するための基本計画策定業務等が行われており、両市から出される可燃ごみの量から処理施設の規模等が検討されている。



▲長崎県長与・時津環境施設組合での視察

また、環境組合議会の活動として、今後建設される焼却処理施設をより良いものにするため、7月に小城・多久両市に人口規模が近い、長崎県の長与・時津環境施設組合への視察研修を行った。



# お知らせ

## 第4回定例会(予定)のお知らせ

11月30日(月)	定例会 《開会》	10日(木)	議案質疑
12月3日(木)	一般質問	11日(金)	常任委員会
4日(金)	一般質問	14日(月)	常任委員会
7日(月)	一般質問	15日(火)	常任委員会
8日(火)	一般質問	18日(金)	討論・採決 《閉会》
9日(水)	議案質疑	(*日程など都合により変更 になる場合もあります。)	

## 表紙の紹介

土生遺跡(国史跡、昭和48年指定、三日月町久米一四八八)

晴気川と祇園川によって形成された標高7mの扇状地の扇端近くに立地する。昭和46年の鉱害復旧工事により発掘調査が行われ、弥生時代前期に始まり後期(約二、〇〇〇年前)まで営まれた大規模な集落跡であることが確認された。佐賀県内の西部地域では一番大きな遺跡で、堅穴住居や食料を保存する高床倉庫、木を削ってつくった農具や杓子・織具・高杯

などの木製品や石斧・石包丁・砥石などの石器、胴部に牛角状の把手を持つ壺・口縁部に粘土紐を貼りつけた甕などが出土し、平成四年の指定地外の発掘調査でも、掘立柱建物数棟が確認され、柱穴の一つからは青銅製の鉋型がわが国で初めて出土。また更に近年の調査で青銅器鑄型、踏鋤(表紙写真)なども発掘されている。

\*1 掘立柱建物——柱を直接土中に立てて建てた住居。

## 議員活動あれこれ

佐賀県市議会議長会議員研修会  
議員研修会(7月31日)



人権同和問題講演会(8月7日)



消防団夏季訓練(8月16日)



有明海  
クリーンアップ作戦  
(8月24日)



地域創生シンポジウム  
(8月29日)



# 地域の学び舎

小城市立

いわ まつ

## 岩松小学校

創立 明治8年(1875)4月

児童生徒数 220名(男子98名、女子122名)



### 学校教育目標

自ら学び、自ら行動する、心豊かな  
岩松っ子の育成

### 目指す子ども像

自ら学ぶ児童  
自ら行動する児童  
心豊かでやさしい児童



岩松っ子のちがい

- ㊶ 命を大切にする
- ㊷ 分かるまで考える
- ㊸ 真心で挨拶する
- ㊹ つらくても負けない
- ㊺ しぜんを愛する
- ㊻ よろこんで働く
- ㊼ 運動で体を鍛える

### 岩松小学校 校歌

一、天山の空行く雲よ峰の雪よ  
きおん川の流れ清く  
せせらぎは 心の鏡  
我等みなここに集う

二  
岩松の緑の枝よ森のこすえよ  
朝夕にささやきそよぐ  
松風は 心のはげみ  
我等みなここに育つ

三  
故郷の野に咲く花よ草の美よ  
六年の実りゆたかに  
思い出は 心のいずみ  
我等みなここに学ぶ

### 学校・地域の特色や特長

- 日蓮宗の鎮西本山である松尾山光勝寺、1000年以上の歴史を誇る岩藏寺や円通寺、千葉氏で有名な須賀神社、天山神社など、歴史と伝統を誇る由緒ある神社仏閣が多く点在しています。
- ホタル祭がある祇園川、彼岸花祭りがあり棚田百選に選ばれた江里山地区、鯉料理や竹灯りで有名な清水など、自然豊かで観光スポットも数多くあります。
- ICT利活用教育に力を入れていて、電子黒板やタブレット型PCを学習に取り入れています。
- 自問清掃(がまんそうじ)に取り組み、がまん玉(心)・みつげ玉(心)・しんせつ玉(心)を磨いています。
- 青少健主催の土曜講座「岩松寺子屋」に積極的に参加し、岩松検定(5.6年)を実施して、郷土を知り郷土を愛する心を育てています。
- 「真心と語先後礼(ごせんごれい)」を合い言葉に、あいさつ運動に取り組んでいます。
- 読書活動に取り組み、今年の目標は一人150冊以上です。
- 町をきれいに、祇園川クリーン作戦
- 地域の教育力を生かした体験活動(米づくり、野菜づくり、芋づくり、羊羹づくり、ホタル学習など)
- 地域と一緒に、岩松校区大運動会
- 親子で楽しい餅つき、しめ縄づくり
- 6年生を送る「ありがとう集会」と「ばた餅会」

## 編集後記

爽やかな秋風のなか実りの季節を迎えました。市議会だよりも、市民の皆様と議会との橋渡し役として6名の委員の協力です。前期2年の編集もありと1号を残すのみとなりました。

国・県・市・町の行政の仕事は、我々一人ひとりの豊かで安心安全なくらしの実現に向け日々執行されていますが、実りある幸せな世界の構築に向け、議会としてしっかりとチェックしていく努めは怠ってはなりません。市政への監視にも皆様の視点も欠かせません。議会への更なるご指導ご鞭撻をお願いします。(富)

委員長	富永 正樹
副委員長	光岡 実
委員	江島佐知子
	西 正博
	永 和正
	松並 陽一